

「いのち」と「愛」に着目する子育て／岡本富郎著より

クリスチャンとして保育学者としてのべ 5000 人の相談を受けてきたエキスパートの先生です

子育てワンポイント 励ましのことば 20

バックナンバーはHPからご覧頂けます

子育ての「根源力」・その2

人間の中には「生きようとするいのちの力」と「愛そうとするいのちの力」が宿っている・・・というお話のつづき

さらにもう一つのことも考えておきましょう。それは、人間の心の中には、自己中心的な思い、自分さえよければいいと考える、悪い心もあるという事実です。しかし、自分の中に湧きあがる「愛そうとするいのち」には、自分の悪い心と戦おうとする力が含まれていることもぜひ知っておいてください。

紹介したい人がいます。「密林の聖者」と言われた、ドイツ出身の医師、ノーベル賞受賞者、哲学・神学博士、アルベルト・シュヴァイツァー博士です。博士は「生命への畏敬」、つまり「すべての生命」を畏れ、敬うことの大切さを世界に訴えました。その考えに基づいて、アフリカのガボンで活動し、一生を捧げました。博士の「われは、生きんとする生命にとりかこまれた、生きんとする生命である」という言葉は良く知られています。

このことに気づくと、他の人の「生命」をただ認めるだけではなく、大切にしようとする気持ちが心の底から静かに湧いてくるのです。普段はこのようなことを考えることはないかもしれませんが、ぜひ、「生きようとするいのちの力」について深く思い巡らせて頂きたいと思います。しばし、日常生活の中で、静かに目を閉じて、自分の「いのちの力」と向かい合ってください。そうすれば、必ずや他の人を「愛そうとする力」が心の中に流れてきて、子育ての「根源力」として発揮されるでしょう。子どもたちは、「いのちの力」から湧き上がる親の「愛の力」に包まれ、自分の存在が認められることで、安心して喜びの日々を過ごすことができるようになります。

メディアなどから流れてくる社会の一般常識に捉われなくて、我が子の心に寄り添い、「いのち」「愛」の根源力によって子育てを楽しみたいですね。瀬戸カルバリーチャペル牧師 倉知契



God is good all the time!
瀬戸カルバリーチャペル

「子育てワンポイント」バックナンバーは、HPからご覧頂けます。
主日礼拝と木曜祈禱会をYouTubeで配信中！

